6. 使用方法

⚠ 警告

■マニホールドバルブの排気ポートを絞らないでください。

●切換弁の排気で生ずる背圧により他のシリンダが誤作動する場合があります。この場合はマニホールド両側排気または、原因となるバルブを単独排気スペーサ付きまたは個別に設置してください。

⚠ 注意

■ダブルソレノイド形 2 位置弁の瞬時通電・手動操作は 0.1 秒以上としてください。
ただし、2 次側負荷条件によりシリンダが誤作動する場合がありますので、シリンダがストロークエンド位置に達するまでの通電・手動操作をすることをお勧めいたします。

■給気ポートの絞りや大気開放での使用はお避けください。

給気ポートの
絞りはダメ!

●内部パイロット式の場合、供給圧力が使用範囲以下に低下し誤作動することがあります。この場合は、外部パイロット式をお使いください。

■長時間の連続通電は電磁弁の性能劣化を促進することがあります。また、以下の使用法でも連続通電と同様にご注意ください。
・間欠通電において通電時間が非通電時間を上回る場合
・間欠通電において 1 回の通電が 30min を超える場合
設置の際には放熱を考慮してください。
連続通電でご使用の場合は、ご相談ください。

7. スペースの確保

⚠ 注意

■電磁弁の周囲には取付け、取外し、配線、配管作業のためのスペースを確保してください。

8. 取扱説明書の明記

⚠ 注意

■メンテナンス条件を装置の取扱い説明書に明記してください。

●使用状況、使用環境、メンテナンスによって製品の機能が著しく低下し、安全性が確保できない場合が発生します。メンテナンスが正確であれば、製品機能を十分に発揮させることができます。